

新国立劇場 2016/2017 シーズンオペラ
ヴェルディ

オテロ

Otello

2017年4月9日(日)~22日(土) 会場:新国立劇場オペラパレス
【2016年12月10日(土)前売開始】



「オテロ」2012年公演より 撮影:三枝近志

英雄オテロの心の迷宮、そして破滅。圧巻の音楽ドラマ!

シェイクスピアの名作「オセロー」に晩年のヴェルディが7年をかけて作曲した、イタリア・オペラの最高峰に立つ傑作。

愛の二重唱、オテロとイアーゴの復讐の二重唱、デズデーモナの「柳の歌」、「オテロの死」と聴きどころが連続。

オテロの破滅的な最期まで一瞬の隙もなく音楽が緊密なドラマを描きます。

50トンもの水を用いた演出は、水面の表情で嫉妬、陰謀、疑心、妄想と目まぐるしく展開する心理劇を視覚化します。

名匠カリニャーニ指揮、一流のヴェルディ歌手が競演

指揮はダイナミックで推進力あふれる音楽作りに定評あるイタリア・オペラの名手カリニャーニ。

難役オテロはドラマティックな歌唱のヴェントレ。

デズデーモナには端正な歌唱が魅力の名ソプラノ、ファルノッキア。

イアーゴにはブルガリア出身のヴェルディ・バリトン、ストヤノフが登場。

世界第一線のヴェルディ歌手が繰り広げるスリリングなドラマをお見逃しなく!

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨 木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709

E-Mail:takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

新国立劇場 2016/2017 シーズンオペラ

ヴェルディ オテロ

全4幕〈イタリア語上演／字幕付〉

初演: 1887年2月5日／ミラノ・スカラ座

作曲: ジュゼッペ・ヴェルディ 原作: ウィリアム・シェイクスピア 台本: アツリーゴ・ボーイト

英雄オテロの心の迷宮、そして破滅。圧巻の音楽ドラマ！

シェイクスピアの名作悲劇『オセロー』にイタリアの大作曲家ヴェルディが晩年に7年の歳月をかけて作曲した、イタリア・オペラの最高峰に立つ大傑作。愛の二重唱、オテロとイアーゴの復讐の二重唱、デズデーモナの「柳の歌」、「オテロの死」と聴きどころが連続し、オテロの破滅的な最期まで一瞬の隙もなく音楽が緊密なドラマを描きます。

イタリアの映画監督として著名なマリオ・マルトーネの演出は、舞台をオリジナルのキプロス島からヴェネツィアに移し、50トンもの本物の水を用いているのが大きな見どころ。ヴェルディの劇的な音楽とともに、水面の表情によって嫉妬、憎悪、疑心、妄想そして殺害と目まぐるしく展開する心理劇を視覚化します。

名匠カリニャーニ指揮、一流のヴェルディ歌手が競演

指揮はダイナミックで推進力あふれる音楽作りに定評あるイタリア・オペラの名手カリニャーニ。ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、メトロポリタン・オペラなど世界の歌劇場で特にイタリア・オペラで絶大な評価を受ける一方で、各地のオーケストラにも客演し、日本のオーケストラファンの間でも厚い信頼を獲得しています。新国立劇場には2013年の『ナブッコ』でエネルギーの凝縮された名演が絶賛されて以来の登場です。

難役オテロはドラマティックな歌唱力と繊細なコントロール技術を併せ持つテノール、ヴェントレ。新国立劇場ではこれまで『トスカ』カヴァラドッシ、『アイダ』ラダメスと出演を重ね強靱な声を披露、16年『アンドレア・シェニエ』タイトルロールでは声と表現の成熟ぶりを印象付けました。難役オテロ役は自ら「恋に落ちた」と語り今最も力を入れている役で、今シーズンも、ライン・ドイツ・オペラ、ハンブルク州立歌劇場それぞれの新制作公演に同役での出演を重ね、満を持しての披露となります。デズデーモナには端正な歌唱が魅力の名ソプラノ、ファルノッキア。世界一流歌劇場で活躍し、新国立劇場でも『ファルスタッフ』アリーチェ、『ドン・カルロ』エリザベッタとヴェルディ・オペラで人気を獲得している名歌手です。イアーゴにはブルガリア出身のヴェルディ・バリトン、スタヤノフが登場。世界第一線のヴェルディ歌手がそろって、オペラファンならば絶対に見逃せない公演となっています。

ロドヴィーコ妻屋秀和、カッシオの与儀巧、エミーリアの清水香澄、ロデリーゴの村上敏明と、重厚なドラマを支える日本人歌手に国内きっての名手が揃っているのも注目のポイント。オペラファン垂涎のキャストが繰り広げるスリリングなドラマをお見逃しなく！

■ 『オテロ』 ものがたり

【第1幕】キプロス沖で、ムーア人の将軍オテロ率いるヴェネツィア艦隊がトルコに勝利。キプロス島は勝利に沸いているが、旗手イアーゴは面白くない。彼は、自分が就任するはずの副官にカッシオが就いて以来、オテロを恨んでいた。そしてついにオテロを陥れる計画を実行する。まず、酒に弱いカッシオを酔わせ、喧嘩に巻き込む。酩酊した彼は剣を持ち出し流血の事態に。その場を沈めたオテロはカッシオを副官から解任した。

【第2幕】解任に落ち込むカッシオに、イアーゴは、処分を軽くしてもらうようオテロの妻デズデーモナに取りなしてもらえばいいと助言する。2人が会話する姿を見てほくそ笑むイアーゴは、カッシオとデズデーモナの関係が怪しい、とわざとオテロの側で眩く。動揺するオテロ。カッシオを許すようにデズデーモナはオテロに頼むが、疑心が芽生えたオテロは苛立つばかり。デズデーモナが差し出したハンカチも振り払ってしまう。落ちたハンカチを奪い取ったイアーゴは、デズデーモナのハンカチをカッシオが持っていた、とオテロに報告。オテロは復讐を誓う。

【第3幕】デズデーモナが再びカッシオの復職を頼んできたため、オテロは彼女を娼婦呼ばわりして部屋から追い出してしまう。イアーゴはカッシオに娼婦の話させると、それを聞くオテロには妻との情事の話だと思わせ、さらに細工して、カッシオにハンカチを持たせる。妻の不義を確信したオテロに、ヴェネツィアへの召還の辞令が下される。後任はカッシオと聞き衝撃を受けるオテロは、大勢の前でデズデーモナを罵倒したのち正気を失い倒れる。

【第4幕】デズデーモナは寝室で祈りを捧げて夫を待つ。部屋に戻ったオテロは妻に口づけたのち、不義を問い詰め、絞殺。驚いた侍女エミーリアはすべてイアーゴの陰謀だと語る。絶望したオテロは、妻の死を嘆き自害する。

報道用資料

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】パオロ・カリニャーニ

Paolo CARIGNANI

イタリア・ミラノ生まれ。世界の一流歌劇場や音楽祭、オーケストラのコンサートで活躍中の人気指揮者。明解でドラマティックな表現力で常に高く評価されている。1999年から 2008年までフランクフルト歌劇場の音楽監督およびフランクフルト・ムゼウム管弦楽団の音楽監督を務めた。ウィーン国立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、サンフランシスコ・オペラ、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、バルセロナ・リセウ大劇場、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、ロッシェニ・オペラ・フェスティバルなどで指揮をしている。オーケストラの分野では、ミュンヘン・フィル、ウィーン放送響、読売日本交響楽団などに客演している。最近では、ブレゲンツ音楽祭とウィーン国立歌劇場で『トゥーランドット』、ベルギー王立モネ劇場とバイエルン州立歌劇場で『マクベス』、バイエルン州立歌劇場『メフィストフェレ』、『ドン・カルロ』、ハンブルク州立歌劇場『オテロ』などを指揮している。今後の予定にバイエルン州立歌劇場『ナブッコ』、ブレゲンツ音楽祭『カルメン』、パレルモ・マッシモ劇場『アルジェのイタリア女』などがある。新国立劇場では2013年『ナブッコ』を指揮している。



【演出】マリオ・マルトーネ

Mario MARTONE

ナポリ生まれ。前衛演劇でキャリアをスタートさせ、演劇グループ「Falso Movimento」と「Teatri Uniti」を設立。1992年からは映画監督としても活躍。複数の映画がカンヌ映画祭で上映されている。オペラでは、英国ロイヤルオペラ、マドリッド王立劇場、サン・カルロ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、シャンゼリゼ劇場などで演出を手掛けている。これまで演出した作品は、『コジ・ファン・トゥッテ』『ルル』『ドン・ジョヴァンニ』『仮面舞踏会』『フィガロの結婚』『ファルスタッフ』などが挙げられる。映画監督としての手腕とその実績としては、91年『あるナポリの数学者の死』が代表作でありヴェネツィア映画祭のグランプリを始め数々の賞を受賞している。また第48回カンヌ国際映画祭(95年5月)では、『L' amore molesto』がコンペティション部門において上映されている。第53回カンヌ国際映画祭(2000年5月)では審査委員を務めている。イタリア統一150年を記念した歴史劇『Noi Credevamo われわれは信じていた』は2011年ヴェネツィア国際映画祭にコンペ部門に出品され、日本でもイタリア映画祭2011で上映された。新国立劇場では2009年の本プロダクションが初登場となった。



【オテロ】カルロ・ヴェントレ

Carlo VENTRE

ウルグアイのモンテビデオ生まれ。現在、リリコ・スピントのテノールとしてヨーロッパ、アメリカを中心に最も活躍している一人である。1994年にミラノ・スカラ座で、ムーティ指揮の『リゴレット』マントヴァ公爵でオペラ・デビュー。その後、ハンブルク州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ライプツィヒ歌劇場、フランクフルト歌劇場、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、バルセロナ・リセウ大劇場、ヴェローナ野外劇場、シカゴ・リリック・オペラ、サンディエゴ歌劇場など世界各地で活躍。『オテロ』タイトルロール、『リゴレット』マントヴァ公爵、『アイーダ』ラダメス、『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、『シモン・ボッカネグラ』ガブリエーレ・アドルノ、『ドン・カルロ』タイトルロール、『マノン・レスコー』デ・グリュウ、『トスカ』カヴァラドッシ、『蝶々夫人』ピンカートン、『トゥーランドット』カラフ、『西部の娘』ディック・ジョンソン、さらに『カルメン』ドン・ホセ、『アンドレア・シェニエ』タイトルロール、『アドリアーナ・ルクヴルール』マウリツィオ、『道化師』カニオなどに出演している。最近では、ヴェローナ音楽祭『カルメン』ドン・ホセと『アイーダ』ラダメス、『トゥーランドット』カラフ、ベルリン・ドイツ・オペラ及びデュッセルドルフ・ライン・ドイツ・オペラ、ハンブルク州立歌劇場『オテロ』タイトルロールなどに出演している。今後の主な予定に、トリノ王立歌劇場『マノン・レスコー』デ・グリュウ、ポローニャ歌劇場『アイーダ』ラダメス及び『トスカ』カヴァラドッシなどがある。新国立劇場では2009年『トスカ』カヴァラドッシ、13年『アイーダ』ラダメス、16年『アンドレア・シェニエ』タイトルロールに出演した。



【デズデーモナ】セレーナ・ファルノッキア

Serena FARNOCCHIA

イタリア・ピエトラサンタ生まれ。1995年フィラデルフィアのルチアーノ・パヴァロッチ国際声楽コンクールで優勝後、ミラノ・スカラ座『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナでオペラ・デビュー。これまでにミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、バイエルン州立歌劇場、シュトゥットガルト州立歌劇場、フィンランド国立歌劇場、シカゴ・リリック・オペラなどに出演している。主なレパートリーとして、『ドン・カルロ』エリザベッタ、『ファルスタッフ』アリーチェ、『ラ・ボエーム』ミミ、『トゥーランドット』リユー、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナなどがある。最近では、ナポリ・サン・カルロ・オペラフェスティバル『蝶々夫人』蝶々さん、パルマ・ヴェルディ音楽祭『ドン・カルロ』エリザベッタ、シュトゥットガルト州立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、バイエルン州立歌劇場『ラ・ボエーム』ミミなどに出演している。新国立劇場



報道用資料

場では2007年『ファルスタッフ』アリーチェ、09年ニューイヤー オペラパレス ガラ、14年『ドン・カルロ』エリザベッタに出演している。

【イアーゴ】ウラディーミル・ストヤノフ

Vladimir STOYANOV

ブルガリア・ペルニク生まれ。ソフィア音楽アカデミーで学ぶ。柔らかく伸びのある声でヴェルディを中心としたレパートリーで世界の主要な歌劇場で活躍している。主なレパートリーに、『リゴレット』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、『椿姫』ジェルモン、『ドン・カルロ』ロドリゴ、『仮面舞踏会』レナート、『シチリア島のタペの祈り』モンフォルテ、『ナブッコ』タイトルロール、『運命の力』ドン・カルロ、『マクベス』タイトルロール、『オテロ』イアーゴ、『ファルスタッフ』フォード、『エルナーニ』ドン・カルロ、『アッティラ』エツィオ、『ルイザ・ミラー』ミラー、『群盗』フランチェスコ、『ルチア』エンリーコ、『ロベルト・デヴリュエ』ノッティンガム公爵などがある。今までに出演した劇場は、ハンブルク州立歌劇場を中心に、ミラノ・スカラ座、チューリヒ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ローマ歌劇場、マドリード王立劇場、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、サン・カルロ歌劇場、ヴェローナ野外劇場、トリノ王立歌劇場、ソフィア国立歌劇場、ボリショイ劇場、フィレンツェ歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場、バイエルン州立歌劇場、ポローニャ歌劇場、バルセロナ・リセウ大劇場、サンフランシスコ・オペラ、スウェーデン王立歌劇場、英国ロイヤルオペラなどがある。最近ではソフィア歌劇場『ナブッコ』タイトルロール、パルマ・ヴェルディ音楽祭『ドン・カルロ』ロドリゴ、ポローニャ歌劇場『リゴレット』タイトルロール、ジェノヴァ歌劇場『椿姫』ジェルモンなどに出演している。今後の予定にナポリ・サン・カルロ歌劇場『椿姫』ジェルモン、イスラエル・オペラ『運命の力』ドン・カルロ、マドリード王立歌劇場『蝶々夫人』シャープレスなどがある。新国立劇場初登場。



【カッショ】与儀 巧

YOGI Takumi

沖縄県出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学大学院音楽学部声楽学科修了。平成15年6月よりイタリア・ポローニャへ1年間留学。第71回日本音楽コンクール声楽部門入選。第42回日伊声楽コンクール入選。第6回東京音楽コンクール声楽部門第1位及び聴衆賞受賞。最近の活躍として2009年名古屋二期会『真夏の夜の夢』ライサンダー、東京芸術劇場シアターオペラ『トゥーランドット』パン、2010年東京二期会『オテロ』ロドリゴ、2011年東京二期会『サロメ』ユダヤ人3、2012年二期会創立60周年記念『パリアッチ』ペッペなど出演。同年の神奈川国際芸術フェスティバル/ネオオペラ「マダムバタフライX〜ブッチーニのオペラ『蝶々夫人』より」ピンクートンで新境地を拓いた。2013年びわ湖ホール・神奈川県民ホール『椿姫』ガストン子爵、東京シティ・フィル『カルメル派修道女の会話』（演奏会形式）騎士フォルス、司祭、2014年3月びわ湖ホール『死の都』アルバート伯爵などに出演。9月東京二期会『イドメネオ』で待望のタイトルロールで大成功を収めた。同年10月びわ湖ホール『リゴレット』ボルサ、2015年3月びわ湖ホール・神奈川県民ホール・大分iichiko 総合文化センター『オテロ』ロドリゴ、9月読売日本交響楽団『トリスタンとイゾルデ』（演奏会形式）若い船乗りの声、牧童、舵取り、11月東京二期会『ウィーン気質』ツェド라우伯爵にて出演。新国立劇場初登場。二期会会員。



【エミーリア】清水華澄

SHIMIZU Kasumi

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。文化庁派遣在外研修員としてポローニャに留学。二期会に『仮面舞踏会』ウルリカでデビュー後、『アイダ』アムネリス、『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントウツァ、『ドン・カルロ』エボリ公女などで高い評価を得る。新国立劇場では『ワルキューレ』グリムゲルデ、『神々の黄昏』第二のノルン、『チエネントラ』ティーズベ、『オテロ』エミーリアなどに出演、特に平成22年度高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』では急遽タイトルロールに出演して大絶賛された。2012年の日中国交正常化40周年記念『アイダ』（コンサート形式）では東京公演、北京公演ともアムネリスに出演し、注目を集めた。2015年『ラインの黄金』フロスヒルデに、16年『アンドレア・シェニエ』ベルシに出演。二期会会員。



新国立劇場 2016/2017 シーズンオペラ

ヴェルディ **オテロ**

【全4幕<イタリア語上演/字幕付>】

【公演日程】 2017年4月9日(日)14:00 / 12日(水)19:00 / 15日(土)14:00 / 19日(水)14:00 / 22日(土)14:00

【会場】新国立劇場 オペラハウス

【チケット料金】 S席:23,760円・A席:19,440円・B席:12,960円・C席:7,560円・D席:4,320円・Z席:1,620円

【前売開始】 2016年12月10日(土)

指揮 パオロ・カリニャーニ
 Conductor Paolo CARIGNANI
 演出 マリオ・マルトーネ
 Production Mario MARTONE
 美術 マルゲリータ・パツリ
 Set Design Margherita PALLI
 衣裳 ウルスラ・パーツァック
 Costume Design Ursula PATZAK
 照明 川口雅弘
 Lighting Design KAWAGUCHI Masahiro

オテロ カルロ・ヴェントレ
 Otello Carlo VENTRE
 デズデーモナ セレーナ・ファルノッキア
 Desdemona Serena FARNOCCHIA
 イアゴ ウラディーミル・ストヤノフ
 Iago Vladimir STOYANOV
 ロドヴィーコ 妻屋秀和
 Lodovico TSUMAYA Hidekazu
 カッシオ 与儀 巧
 Cassio YOGI Takumi
 エミーリア 清水華澄
 Emilia SHIMIZU Kasumi
 ロデリーゴ 村上敏明
 Roderigo MURAKAMI Toshiaki
 モンターノ 伊藤貴之
 Montano ITO Takayuki
 伝令 タン・ジュンボ
 A Herald TANG Jun Bo

合唱指揮 三澤洋史
 Chorus Master MISAWA Hirofumi
 合唱 新国立劇場合唱団
 Chorus New National Theatre Chorus
 児童合唱 世田谷ジュニア合唱団
 Children Chorus Setagaya Junior Chorus
 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団
 Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督 飯守泰次郎
 Artistic Director IIMORI Taijiro

予定上演時間:約2時間45分(休憩含む)

公演情報 WEB サイト <http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

英語版 WEB サイト・英語版 Web ボックスオフィス <http://www.nntt.jac.go.jp/english/>

報道用資料

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、CNプレイガイド、東京文化会館チケットサービス ほか

* Z席 1,620 円:Z席 42 席とZ(音のみ)席 4 席は、公演当日朝 10 時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン・イレブン、サークルK・サンクスの端末操作により全席先着販売します。1 人 1 枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%) : 公演当日残席がある場合、D席・Z席を除く全ての席種について 50%割引で販売。要学生証。電話予約不可。

* 新国立劇場では、ジュニア割引(中学生以下 20%)、高齢者割引(65 歳以上 5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)など各種割引サービスをご用意しています。

新国立劇場 WEB サイト <http://www.nntt.jac.go.jp>

東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より 1 駅、初台駅直結。

報道用資料

★本演目はレパートリー(再演)公演です。過去の上演の記録写真を宣材としてご提供いたします。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】